

2018年

7月6日(金)

18:00~19:30

金沢医科大学病院

病院中央棟3階 中会議室3



がん治療における 心血管毒性の病態と対策 — Onco-Cardiologyの役割 —

向井 幹夫 先生

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

成人病ドック科 腫瘍循環器外来 主任部長

がん診療において合併する循環器疾患や出現する心血管毒性において臨床現場における対応を、具体的な症例提示をしながら以下の項目を中心に概説いただきます。

- ① 心不全：タイプ1、タイプ2心筋障害；アントラサイクリン、トラスツズマブ心筋症
- ② 血管障害：血管新生阻害薬を中心に。
- ③ 免疫療法：免疫チェックポイント阻害薬における心血管毒性
- ④ がんサバイバーに対する対応

主 催： 金沢医科大学大学院医学研究科循環制御学

共 催： 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）
金沢医科大学、金沢大学、信州大学、富山大学、福井大学、石川県立看護大学 共同企画事業

問合せ先： 金沢医科大学 教学課（大学院医学研究科担当）
〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地
E-mail d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp TEL076-218-8051 FAX076-286-6054